



会報



東京出雲崎会
会長 内藤久吉
責任者 東條玉英
〒158-0094 世田谷区玉川3-20-11-307
電話 03-5717-3443

平成22年度

第12号

1月吉日



会員の健康と長寿、故郷・出雲崎の繁栄、そして東京出雲崎会の益々の発展を願って万歳三唱

平成21年度

故郷を慈しみ良寛の心に学べ

『定時総会&懇親会』が盛大に！

東京出雲崎会

木々の芽もふくらむ三月十四日（土）東京出雲崎会の平成二十一年度「定時総会・懇親会」が錦糸町駅前東武ホテルレバント東京「錦の間」にて、多くの来賓の方々の迎え、総勢二百五十余名が集い盛大に開催されました。（2・11面に関連記事）

第一部の総会では前年度に逝去された、物故会員の方々への黙祷を全員で捧げたのち開会の辞では出席の皆様へ歓迎と感謝の言葉が伊藤勝副会長よりありました。続いて会長挨拶で、津山忠夫会長から会

発足六十七周年を迎え、今回の参加者の三割超が戦後世代となった旨の話があり今日迄「団結と慈愛」で会の運営がなされて来たことへの感謝と、今後の益々の発展に期待を寄せられました。

その後、議事に入り、内藤久吉幹事長から経過報告、会計委員長及び会計監査から平成二十年度の会計報告があり、出席者全員の拍手で承認されました。

新会長に内藤久吉氏

役員改選の報告では、津山会長より勇退の意志表明と後任に内藤久吉氏の指名推薦説明があり、満場一致で会長人事の承認がなされました。

新会長挨拶で内藤新会長は「歴代会長の意志を引継ぎ、故郷を愛し、良寛の心に学ぶ」と宣言。壇上で津山・内藤・伊藤の三氏が堅い握手を交わされました。

来賓祝辞では小林則幸出雲崎町長から八月の船まつりと花火大会の再開や町の観光大使・ジェロさんの出演が決定した等ホットなニュースが紹介されました。近藤正道参議院議員と川村敏夫新潟県人会会長代理の祝辞のあと、高居寛阿良寛記念館理事長から新宿住友ホールで開催、大盛況だった「良寛生誕二百五十周年記念遺墨展」への御礼の言葉がありました。続いて壇上で高島準司住友不動産会長から寄贈され

た四斗樽の鏡割りが行われ第二部の懇親会へと移行。

中川正弘町議会議長の音頭で乾杯。あとは大漁旗の下、甲友会・おけさ保存会の三味や笛・太鼓の音に、和やかなムードが天領さとみさんの演歌や来賓の皆様も出雲崎おけさの輪おどりの中へ、獅子舞も各テーブルをまわり、会場は歓談の花盛りとなり、あちこちで懐かしい人達同士が記念写真に納まっておりました。

喜寿・古稀・還暦の二十名が壇上へ、参加者も加わり「小学校校歌」を合唱。鳥井歴代会長顧問の発声で中締め。佐藤名誉会長の音頭で万歳三唱しお開きとなりました。

平成22年度

「定時総会・懇親会」開催のご案内

◎日時…平成22年3月13日（土）
受付開始…午前10時30分より
開会…11時30分 閉会…午後3時

◎場所…錦糸町 東武ホテルレバント東京
4階「錦の間」
（東京都墨田区錦糸1-2-2 ☎03-5611-5511）＝別紙案内地図参照

◎会費…合計12,000円
（年会費2,000円＋総会懇親会費10,000円）

●お問い合わせは…東條幹事長まで（携帯電話）090-8008-8077
FAX 03-5717-3443

Eメール：
yahiko-tojo@aqua.plala.or.jp

会長挨拶

会長 内藤 久吉

新春にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

本会は本年、創立六十八周年目を迎えました。

この間諸先輩をはじめ会員各位のご努力で会員数も千名を超えるにいたり、今日まで盛況裏に迎えることが出来ましたことを心より感謝申し上げます。



上げま
す。
「限り
なく、
こよな
く故郷
出雲崎

幹事長挨拶

幹事長 東條 玉英

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃会員の皆様には当会に対しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私は昨年の役員会におきましてご指名を頂き任を拝しました。若輩者ではございますが、郷里を同じくし



又ご縁
故ある
一千余
名の会
員皆様
方と共
に「懐

を愛する者の集ひ」の基、更なる輪を拡げて参りたく思っております。

経済環境も良くない状況下ではありますが、何とか明るい将来を展望して、皆様方には相互に協力しあつて、手を携えてゆこうではありませんか。

一家衆は勿論「やぶち」だつたではないですか、互いに来る事は助けあつてゆこてね。

又、本年の総会・懇親会には住吉町の「飴獅子」が特別出演してくれついでにねえ、だあーすけ、こぞつて来てくんないね、心から待つていつこてね。

諸兄弟の益々のご健勝とご発展を願っております。

かしがりやの会」継承と発展のために努力する所存でございますので今後ともご支援の程、宜しく願ひ申し上げます。

幸いなことに昨年度総会参加者は戦後世代が三割を超えました。

正しく老若男女が集い出雲崎おけさを踊り大漁旗たなびく故郷の再現の一日を創ることが出来ました。

本年はさらに充実させ、会の目的である『故郷との絆と連帯』をより一層推し進めたいものと考えております。「おめさんたあつまてくんなせいや、いずんざきべんではなそいね」東京出雲崎会の「総会・懇親会」です。皆様の奮つてのご参加を良寛さんの思いやりの心でお待ち申し上げます。



↑大漁旗はためく総会・懇親会会場



天領
さとみさん

総会 スナッフ



↑お獅子囃んでハイ・ポーズ！



↓みんな輪おどりの中に！ ↑甲友会の皆様



↓小学校歌を大合唱 ↑出雲崎おけさ会の皆様



激動の時代を越えて

七八会 (なっばのかい)

六月十九日、昭和二十年終戦の年に小学校を卒業した七八会は、喜寿の集いを越後湯沢で開催、遠くは大阪・名古屋からと二十六名が集いました。

一望千里が売りの露天風呂から谷川連峰は若干霞んでいましたが素晴らしい初夏の展望も楽しむことが出来ました。

生まれは戦前、小学校は戦中、青春時代は戦後の混乱期、働き盛りは高度成長期、やがてバブルとその崩壊。まさに百年いや千年に一度の激動の時代を生きてきたので話題は多く語りつきません、宴終わり近く用意した出雲崎おけさのテープが流れても積る話に夢中で誰も踊りません。宴会後も部屋



素敵な年輪が光る七八会

翌日は宿で寛いだ後ミニ観光バスで天地人の遺蹟を巡り、なかでも雲洞庵本堂は後江戸時代出雲崎の黒陣内を棟梁とする大工群の建立で、新潟県文化財に指定されていることに感銘を受け、出雲崎の誇りと思いました。

記念品は同期の磯田幸雄氏作の銅製ミニワインカップをおみやげに帰路につきました(MY)

還暦

労苦乗り越え

輝きの笑顔満開

夕渚会では六月二十日(土)晴天の中、午後十二時より「出雲崎港漁村センター」で「還暦の会」を開催。総勢八十七名が集い、恩師・高山先生も元気な顔を見せて下さいました。

中学卒業後初めて会う人、何十年振りの再会、最初の戸惑いも、そこは出雲崎の人間性?か、顔をあわせ昔の面影に肩を叩きあい再会を喜び合う光景が多々見られました。出中から巣立ち四十四年の歳月が経っても、道はそれぞれ

また会いましょう。(H・N)

「出雲崎おけさ」では輪踊りが出来ました。二次会は「みよや」で行い、ほとんどの人が出席。三次会は三方面に分かれて出雲崎の夜を堪能しながら各々自宅や宿泊先へと歩を向けました。

翌日も町を見物する姿が...。

平成二十二年五月には中学卒業四十五周年記念して関東・出雲崎合同で湯沢で開催予定です。それまで元気でいて下さい。

夕渚会

昭和40年
出中卒業

「出雲崎おけさ」では輪踊りが出来ました。二次会は「みよや」で行い、ほとんどの人が出席。三次会は三方面に分かれて出雲崎の夜を堪能しながら各々自宅や宿泊先へと歩を向けました。



人生はこれから...

笑顔でハッスル!!

出中第八回卒業生のすえひろ会の古稀の会が五月二十三日(土)故郷・出雲崎の「割烹みよや」で開催され男女五十三名が出席してにぎやかに行われました。

久しぶりの集まりで、顔を合わせた途端に出雲崎弁丸出し。喋る声も二十代、三十代に負けない元気さ。

記念写真を撮るのに時間が少々心配されましたがそこは流石、節度ある仲間達。予定通り写真はバッチリ。



ますます元気で人生謳歌

すえひろ会

昭和30年
出中卒業

寿



なつかしい友と出逢えたことを互いに喜びあい、ここまで元気でこれたことにみんな感謝をしつつ、山とあるであろう積もる話を、限られた時間の中ではあるけれども心ゆくまで話しあえた満足のゆく一日となりました。

七十歳。人生まだまだこれからだ。ハッスル・ハッスル。笑いは健康のもと、元気でガンバローと共に誓いあい、再会を約しつつお開きになりました。(K・O)

異なっても、同級生は同級生です。それぞれが人生の荒波に年輪を重ね皆さん良い顔になっておりました。

宴会では「太夫さん舞」もあり



祝 夕渚会 還暦を祝う会

還暦を祝し87名が元気に出雲崎港に集いました。

22年度は
いよいよの方々です

おめでとう
ございます。

喜寿Ⅱ「末廣会」

(昭和二十一年出中卒業)
平成22年開催予定です。

古稀Ⅱ「辰巳会」

(昭和三十一年三月出中卒業)
平成22年六月十六日
三島・喜芳(きほう)
で開催します。

還暦Ⅱ「卯寅の会」

(昭和四十一年三月出中卒業)
平成22年六月十九日
会場Ⅱ佐平次にて
開催します。

雲上人の心地で大満足！

最高の一日に感謝

六本木・住友会館に65名

十一月七日（土）石井町倶楽部懇談会は回を重ね、今回「第五回記念」と名付けた。

この話を耳にされた石井町出身（石地屋）の大先輩高島準司住友不動産会長から六本木の住友会館へ、ご招待を頂いた。

42階から絶景を眺めながら、出されたフランス料理のフルコースと寿司。

貧困の私には今まで口にした事もなく、今後食べ



る事も出来ないであろう物ばかり。大変美味しくて言葉に表現出来ず。住友会館専属の超一流のシェフだそう。寿司も大変美味しかった。お酒類も普段飲んだ事もない上等で高級品ばかりで本当にうまかったとは皆の声。

今回は田舎から三味線弾きと笛吹きと獅子が応援に来てくれた。

いつもより派手に獅子舞チャンチャコチャン・盆踊り・カラオケと皆んな年がいつもなくハシヤギ回った。

午後二時から四時間半、うまいものを食べて飲んで騒ぎ過ぎてハアア疲れた。

ふと外を見ると目の前に雄大な東京タワーが赤くライトアップされ、目を落とすとキラキラと色彩り華やかに光り輝き宝石を散りばめたような銀河の世界（下界）が広がっています。

雲上人氣分を満喫させて頂いた。感謝を込めて石井町倶楽部の六十五人と共に、
(M・I)

3連休初日に41名が出席

羽黒町会

語らいで元気百倍



11月21日（土）第4回羽黒町会が、御徒町駅前の吉池七階「池田屋」で開催されました。

小春日和のととてもよい日でしたが、昨年と同様に開催日が三連休の初日と重なり、残念ながら41名の参加者となりました。

それでも久しぶりに出席された方も常連の方々と共に和気あいあいと一年ぶりの出会いをおおいに楽しみました。二次会は吉池の五階に席を移しましたが、参加者の半数くらいの方が参加して下さい、さらに盛り上がり、帰路につく時は来た時よりも元気になられたようにも見えました。

来年は11月6日（土）で開催が決まっております。

五周年記念となりますので50名以上の参加者を期待しております。
(H・N)

勝見・尼瀬会

初の平日開催に三十八名が集う

昔の故郷の情景を肴に

第三回の勝見・尼瀬会が、十月二十八

日（水）江東区西大島加藤進康氏の再会の喜びの挨拶、津山忠夫氏の乾杯で開宴しました。

急用や急病で四名ほどの方が欠席されましたが男女三十八名が集い、四千円会費とは、

思えない料理と飲み放題の酒類に満足しながら、会話は進みました。勝見・尼瀬地区特有の、石油槽が何本も建って

いた昔の情景からはじまり、天草干し、砂浜での野球、勝見の人にとって、冬の風が強い日など「蛇崩れ」を過ぎると人家が無く寂しく辛い通学だったことなどの話や、春は山菜採り、秋は栗やアケビ、キノコ採りに廻った野山、昔懐かしい思い出話は続きまし

た。まだ話足りない人達とカラオケ党は、二次会で年代を超えて再度盛り上がりました。今回は、前回の要望①会費

を安く②平日開催③参加者の年代を拡大の声に沿った開催を試みた。今後は、

を安く②平日開催③参加者の年代を拡大の声に沿った開催を試みた。今後は、



集いに世代の広がりをみせる「勝見・尼瀬会」

きずなⅡ

KIZUNA 2009

多彩なイベントに 33,000人(両日で)

復興 出雲崎を発信

十月三・四日の両日、天領の里をメイン会場として、出雲崎町の震災復興祈願式年次イベント第3弾の「きずなⅡ」が開催されました。初日、早朝から風雨が強い中にも関わらず、ささえの取り放題に長蛇の列が出来ました。天候が回復しない中、定刻から第一回よさこい出雲崎2009が開催され県内十七チームが参加、元氣一杯華麗にまた力強くパフォーマンスを披露、最後の全員による総踊り「よつちよれ」は圧巻でした。午後には天気も回復、おもしろ麺屋台村には「富士宮やきそば」や、さくらんぼ麵・米粉の Pastaのお店などが出店、賑わいました。イベント広場には野外ステージが設置され、小学生ユニットのコンサートやお笑いライブが行われ、綺麗な夕日も見ることができました。二日目は、朝から晴天で夏日となりました。冠二郎さんの復興支援コンサートが天領の里時代館内ステージで行われ会場は熱気に包まれました。恒例の巡見行列は妻入りの街並を練り歩きました。又、三・四日の両夜、開催された海上ウオーターショーとスターマインの競演は幻想的かつ豪快な演出に大変感動しました。(H・O)



仮称「住吉町会」 会員募集

この度、住吉町出身の有志の方々より「住吉町出身者の親睦をはかる意味から皆で集まって懇談の出来る機会を…」との提案がありました。

依て、上記主旨にご賛同頂きご参加頂ける方を募集することになりましたのでご案内申し上げます。

住吉町出身の友人・知人の方にも声をかけて頂き、多くの皆様のご参加を賜りますようお願い致します。

尚、お手数をお掛け致しますが、連絡・お問い合わせは下記までご一報下さいますようお願い致します。

住吉町会発足準備事務局

岡田 齊 (下駄屋の長男です)

自宅 ☎ 047-448-2293

携帯 090-3204-4636

メール hitoshi.nanpo-125@docomo.ne.jp

会社FAX 03-3862-7824

E-mail : idc@diary.ocn.ne.jp

出雲崎大祭によせて

気になる
露店一日

出雲崎大祭が梅雨の真只中の六月十六日に前夜祭。快晴の十七日には本祭が行われました。早朝から汗を流し祭りの準備をする人達の姿に接しながら石井町から井鼻まで何十年振りかで歩いてみました。各町内には「子供神輿」が飾られ出番を待っています。子供達が学校から帰ってこねと、神輿が出さんねえさんねえ大人達の子供の帰りを待ちます。



午後、良寛堂に全員集合。お祓いが済み、いよいよ出発です。どこから、こんなにと思ふ程若い担ぎ手で一杯です。装束もセットで売っているとか、「ワッショイ」の掛け声もいいもんです。神輿に灯が点りクライマックスへ、最後まで頑張つて、神輿を担いだ若者達、すんなりと神輿を納めてくれませんが、三回四回とありにあり、やつと納めました。ご苦勞様です。十八日石井神社大祭です、初めての経験です。社殿の中でお祓いを受けて帰路につきました。今回は、露店が一日だけ、次はどうなるか?、出来れば二日、ずっと続きますように(E・N)

生鮮海産物加工販売

今年もイベント広場に出店させていただきます

お土産に喜ばれる一品

- ★いかの白作り
- ★北前漬け
- ★鰯でんぶ
- ★鰯の親子漬け
- ★その他漬物

……お問い合わせ・お申し込みは下記まで……

株式会社 船橋屋商店

代表取締役 三輪 浩一
三島郡出雲崎町石井町490
電話 (0258) 78-2041 (代)

越後の地酒と笹だんご

本年も出店させていただきます。

新潟の地酒 (主な取扱銘柄)

久保田 (朝日山) 銀の罫 (越の譽)
清 泉 (和鳥村) 良 寛 (美の川)
他銘酒各種取り揃えております

—— 全国発送いたします。 ——

株式会社 つるや

代表取締役 荒木 啓之
出雲崎町川西58 (出雲崎駅前)
電話 (0258) 78-2233 (代) FAX (0258) 78-4236

出雲崎名物

元祖 浜焼 炭火焼
全国発送いたします。

石井鮮魚店

三島郡出雲崎町羽黒町475-1
☎ (0258) 78-2025 / FAX 78-2089
http://www16.ocn.jp/~hamayaki/

尽きぬ楽しさ・友との宝

六月七・八日、出中十四むつみ会の親睦旅行を楽しみました。折しも景気回復の定額給付金も交付され、越後繁栄の一助の思いで、越後湯沢温泉「ホテルスボーリア湯沢」での一泊旅行となり、同期二十名で楽しい一時を過ごしました。

ホテルのダンスホールを宴会場に、五時間にも及び二次会通しの大宴会を満喫。仕上に幹事部屋で三次会、またまた盛り上がり丑三つ過ぎの就寝となりました。何歳になっても毎回、話は思春期の甘酸っぱい思い出と、出雲崎での行事や食べ物のお話に花が咲き、時の経つのを忘れてしまう楽しさは友との宝物です。

今年は六十五歳の節目歳。一人でも多くの集いと致したく準備を進めております。（T・W）



三七寛の会 昭和37年 出中卒業
同級生はいいもんだ！

新緑の5月16～17日、恒例となりつつある三七寛の会の一泊旅行が行われました。天気予報は曇のち雨、本当に大当たり。（こんな時は何故当たる？）

今回の集まりは湯河原温泉。遠くは大阪から、元気な仲間15名が小田原駅に集合し小田原城見学の後一行は湯河原へ、今夜の宴は「ホテル四季彩」です途中で雨が降り出して、記念写真も撮れずホテルの中に直行。夜の宴会迄の合間に温泉につかり汗を流し、一杯飲んで喉を潤し宴会の始まりです。

夜、遅く迄飲んで、歌って、しゃべって、同級生っていいもんです。

二日目、雨です。どこにも行かず、昨晚の疲れをとる人、卓球を楽しむ人、昼までホテルですごし午後は小田原で昼食をとり解散しました。

会では年に3・4回集まりますが同じ顔も又楽し、元気でいれば又逢える。次回が楽しみです。（E・N）



出雲崎中学校第十四回卒業むつみ会

年・数回開催

仲良し親睦会

かもめ会 昭和38年 出中卒業

かもめ会の親睦会は十月二十四日（土）上野公園・西郷さんの像の前に集合。

久々のメンバーが元気な笑顔で集合し食事処へ移動。移動中からワイワイガヤガヤ。天気にも恵まれ先ずはビールで乾杯。楽しい会話が続き

出雲崎でのお祭りの思い出や学生時代の事など思い出話は尽きません。その後カラオケ館へレッツゴー。歌って、呑んであつと言う間の三時間、そして喫茶店へ。帰りは何時も「次は何時？」「年3〜4回は良いね〜」、本当に仲良い同級生です、私達は。（T・I）



卒業記念の母校の版画

昭和四十年出小の卒業生（平成辰巳会）が思い出にと

手掛けた小学

校（上校）教

員用玄関の版

面絵が卒業生

の手に。尋常

小学校から国

民学校そして

小学校へと歴

史を刻んだ思

い出の校舎。

現在、「夢

ふうせん」に

展示中です。



印刷のニーズに..

Yes.

各種印刷から加工まで

IDC

有限会社 アイ・ディー・スィー
千代田区神田和泉町1-7-14
和泉ビル202
TEL. 03 (3862) 7830
FAX. 03 (3862) 7824



日本住宅総合サービス(株)

〒136-0076 東京都江東区南砂6-11-17
TEL 03-3648-8575 FAX 03-3648-1966

《企業理念》

家づくりは
人づくり
喜びづくり
感動づくりである

伝統が光る

井之鼻会

個性の花園

羽黒町会

石井町倶楽部

良寛堂で共に遊んだ
竹馬の友の集い

浅草雷門に集合・故郷から六名

五時間超の同期会

平成辰巳会
昭和43年
出中卒業

平成辰巳会は、去る十月十二日出雲崎からの参加者六名を含む総勢二十三名が東京・浅草雷門の大ちようちん前に午前十一時に集合しました。

仲見世通りを流し、浅草寺の観音様を見てから目的地の「貴乃すし」へ向いました。

浅草散策を終え、いい汗かいて、食欲



の秋でもあり、延々五時間におよぶ大宴会となつて、途中でダウンする者も出ましたが、大変な盛り上がりとなりました。

二次会

は最終の上越新幹線に遅れないように、上野駅入谷改札側のパンダ橋口脇の「かよひ路上野店」にて、さらに楽しい時を過ごしました。

来夏のお盆、故郷の船まつりの夜は、同級生のちようちん屋のミコチャンがやっている力フェレストラ「夢ふうせん」にまた集まろいねと約束して名残りを惜しみながら別れました。

(T・Y)

『やぶち会・67歳の集い』 (昭和33年出中卒)

元気に再会・古稀へGO!



昭和十七・十八年生まれの私たち「やぶち会」は「元気で再会し、昔日に戻つて語り合いたい」をモットーに掲げて、故郷・出雲崎と東京の中間点、湯沢温泉の湯沢グランドホテルにおいて、九月九日『六七歳の集い』を開催しました。

当日、男女三十二名が出席、上記写真のように笑顔で盛り上がり、楽しく、元気に和気藹々と過ごすことが出来ました。今回は二月より準備を重ね、居住先不明の同期生の居場所探しや物故者の方々などの調査、下調べ等、役割分担をして当日を迎えました。三年後の古稀を目標に参加者全員で再会を固く誓い万歳三唱でお開きいたしました。

人生には目標を持つ事が大切です。是が非でも古稀には多数の同期とお会いして共に人生を称えあえるように誓い合いました。

(M・I)

中学卒業から

四十年の時は流れて

記念のBGM・DVDに感謝の声

獅子の会
(44年出中卒)

早いもので、出中を卒業して四十年を迎えました。八月十四日「割烹みよや」で恩師徳永一位先生をお招きし総勢三十八名の参加で四十年記念の同級会を開催致しました。

四十年ぶりの友、十年ぶりの顔、それぞれですが皆いい顔で楽しい一時をすごしましたが、既に実家もなく、帰省する用もなくなっている人も数名おりの流れを感じる会でもありました。

二次会の最後に、次回四年後の還暦の会での再会を約束して閉会となりました。

後日出雲崎おけさと校歌をBGMに、当日の様子及び出雲崎の風景をDVDにして参加者に発送。

「仲々の作品」と御礼の言葉をいただき、幹事一同ホッとしているところです。

(S・H)



出雲崎で休日を楽しみませんか。優良店ご紹介!

佐平次 (羽黒町) 0258 78-2116	みよや (羽黒町) 0258 78-3181	山崎旅館 (石井町) 0258 78-2012	おやど 堀善 (石井町) 0258 78-2051	まるこ (石井町) 0258 78-2263	たまきや (岩船町) 0258 78-2171	くるまや (尼瀬) 0258 78-2148
---------------------------------------	---------------------------------------	--	--	---------------------------------------	--	---------------------------------------

福幸の夢を汐風にのせて…

汐風ドリー夢カンパニーⅡ

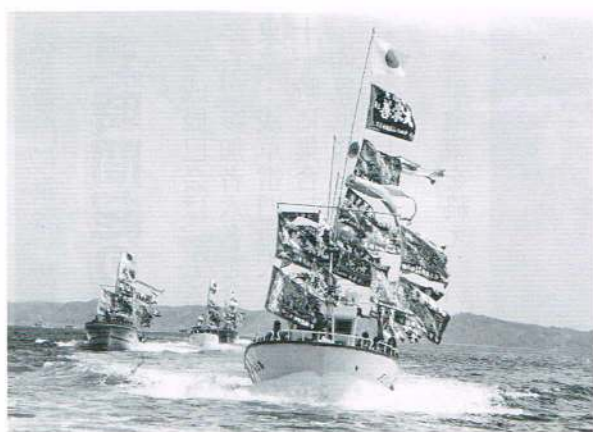
天領の里

昨年が続いての震災福幸祈願イベント「汐風ドリー夢カンパニーⅡ」が、昨年も出演し四月には「いずもぎ観光大使」に就任したジェロさんを迎え。天領の里特設イベント広場で、大勢の県内外からの観客を集め八月十五日、午後五時より盛大に開催されました。このイベントには、新潟県音楽隊と、出雲崎おけさ全国大会の優勝経歴もある、若手民謡歌手剣持雄介さん等が出演し会場を盛り上げました。



アンコール曲は子供達の応援を背に

披露、出雲崎を舞台にしたデビュー曲「海雪」などを熱唱。楽しい時間はアツという間に過ぎてしまいます。アンコールの声のなか、出雲崎小学校六年生の児童が舞台上がり出雲崎の名を全国に知らせてくれたことへの感謝の言葉と「再び紅白に出場することを応援しています」とエールを送りました。その児童達をバックにアンコール曲を熱唱。火花が打上げられました。



復活！ 勇壮な船まつり

中越沖地震の影響で3年ぶりとなった「船まつり」は、好天に恵まれた8月15日、出雲崎漁港などで開催。人気の船団パレードには大小26艘の船が大漁旗をなびかせて勇壮に。

乗船を希望する人が殺到、長蛇の列となり、員数の整理券が発行されましたがそれ以上の希望者であふれ、当初2回の出航予定が3回出航せざるをえない船も出るほどの大盛況となりました。

又、9時30分からの式典には東京出雲崎

お盆(8/15)の
3イベントに

4万5千の人出

例年以上の
大賑わい！

会から名誉会長、会長、会長代理と丸山、佐藤両名誉顧問が列席いたしました。

会場となった漁業センター周辺では、各種イベントが開催され、露店も数多く出店、大変なにぎわいとなりました。

いんぎもやま話

話しげのようで？

いんぎもやま話。さね！一同拍手。一決となったんだとさ。ところがどうも出来すぎた話しげのようで？

明治二十一年二月廿日のゆんべ、関係者の慰労と新会社誕生と前途を祝って、長岡の敦賀屋でイッパイやったとね。そんなそこへさ、風雪だてがね、こうもりが一羽飛んで来たと、蝠と福は同音だ。内藤久寛さんは「いい、いいあんべだ、こりやい

い。蝠蝠印にしよてさね！」一同拍手。一決となったんだとさ。ところがどうも出来すぎた話しげのようで？

日本石油会社の商標「こもり(蝠蝠)印」

聞いたど、聞いたど、



八月十五日夜八時過ぎ、二年間中止を余儀なくされていた「大花火大会」が復興に更なる弾みをつけるためのイベントの一端として三年ぶりに開催、一九九発の花火が出雲崎の真夏の夜空を彩りました。(写真)東京出雲崎会では故郷出雲崎の益々の繁栄を願って超大スターマインを寄贈させていただきました。

大花火大会



声援に手を振って応えるジェロさん



イベント豊富、ぜひお越し下さい



越後出雲崎 天領の里

〒949-4308 三島郡出雲崎町大字尼瀬6-57
TEL 0258-78-4000 FAX 0258-78-4770

氏と磯野清之助氏の二名そして、紙ふうせんの内藤義雄・松永剛・磯田邦雄の三氏が加わり総勢十七名（三名欠席）が賑やかに楽しい一日を過ごしました。

当日のスタート時には、早朝の雨も止み、雲の間から時折太陽が顔をだし、暑からず寒からず、先輩・後輩の、新たな友好を深めながら和気藹々とコースをまわり、入浴の後パーティーで表彰式。軽い会食の中での会話が弾み、まだまだ聞きたいこと話したいことが沢山あるのには過ぎ解散時間が来てしまいました。次回の再会を約し帰路につきました。



同じ郷里と言うだけで、和気藹々とハイ！チーズ

を期に発足し、春と秋の年二回、同級生間の友情と親睦を深め、健康促進の意味も込めて開催されました。今回は先の東京出雲崎会総会での懇談のなかから「俺たちも！」との声が上がりました。会友の東建一

野山の緑も鮮やかな五月十七日（日）。埼玉県本庄市児玉の北武蔵カントリークラブにて第十五回目を迎えたねらの会のゴルフコンペ（幹事：廣瀬吉弘・磯田明男）が開催されました。

この会は、平成十三年六月「還暦同級会」

会員の紹介
お店紹介
そば処
「いづも」
粋なそば屋と

一般紙で紹介

小山七司さん（ねらの会・尼瀬出身）のお店は新宿・熊野神社前に位置し、昭和四十四年四月二十九日の開店で本年四十四周年を迎える。

そばは、そば粉4に小麦粉6の割合で打った本物である。〇七年六月一般紙に掲載されたコラムからエピソードの一つを抜粋して紹介したい。

去年（〇六）の十二社の祭りでの出来事だ。そば屋が町内会から頼まれ、みこしの担ぎ手のために五十人分の冷やがけを用意して待っていた。しかし、雨でみこしの到着が予定より遅れた。しびれを切らしたそば屋は「伸びたそばなど食わせられるか」と、たんかを切って五十人分すべてを捨て、そばを作り直した。粋なそば屋だ。先日、このそば屋で初めて酒を飲んだ。さつま揚げ、いたわき、きんぴらごぼう…とつまみはうまくて安い。「そば屋の酒」と品書きに書かれた日本酒もいける。（中略）ご主人は「うちの信条は作りたて、ゆでたて、す

皆様への情報の玉手箱として…

東京出雲崎会のホームページも、大勢の方々からページを楽しんで御覧頂き、誠に有難う御座います。

今年も皆様と故郷を結ぶ情報の玉手箱としての存在で頑張ります。どうぞ会員相互のコミュニケーション、情報交換等連絡の場や、美味しいお店の紹介の場としてもご活用下さい。

毎月更新しておりますので友人・知人の方々にご紹介頂ければ幸いです。

（出雲崎町のホームページにもリンクしております）

「東京出雲崎会のホームページ」URLアドレス

<http://www2.odn.ne.jp/~chj13670/>

または

東京出雲崎会

検索



旨さがただよ「いづも」

ぐに食べるの3つ。これをつと守ってきた」とそば屋の心意気をかたる。根っからの

職人気質なのだろう。

他にお薦めメニューは、親子丼とカレーそば。独特の味の秘密も簡単に教えてしまう人の良い店主。その店主は「住友不動産の高島会長さんには、開業時から大変お世話になります、今日の「いづも」が有ります」と感謝の言葉をあつく語る。

住所 新宿区西新宿四十四-二

電話 03 (3376) 8786

営業時間 11:00 ~ 14:30 土曜日定休日

運営委員会主催・初の日帰りツアー

秋の東京・下町を満喫!!

次回参加者を募る

十月十七日(土) 秋晴の中、当会の運営委員会主催で初の日帰りツアーが敢行されました。

築地本願寺前に午前十時に会員十一名が集合し最初の目的地である築地市場の場内・外の見学にスタート。

場内での魚の販売風景を散策し、立ち止まっては歩き又止まる。情景が田舎の市場とオーバラップしているのか「はんべいじよの匂いがするねー」とかマグロや大きな魚を見つけると指を指し「あたくらもんの魚だねー」等々出雲崎弁が飛び交い和やかな散策を行いました。その後場外に出て築地の鎮守様である波除神社の日本一の獅子頭を参拝。各お店の試食品をつまみ食いしながら各々



樹齢300年の黒松の前で長寿に肖り? 記念写真

買い物を楽しみました。十二時近くになりお腹が空く頃、待ちに待った築地の寿司屋さんでの昼食です。大トロなどのにぎりをほおぼりながら歓談、和やかな雰囲気での会食会となりました。

お腹も充分みたされ皆さん大満足の顔で店を出て次の目的地浜離宮恩賜庭園へ、園内にある樹齢三百年の黒松の前で記念写真を撮り、各々自由散策。当日は園内で東京大茶会が催されており賑わっておりました。

散策後水上バスにて隅田川の周りの風景を眺めながら遊覧を楽しみ浅草へ。

浅草では雷門から仲見世を通り観音様を参拝。周りを散策し五時近くにちゃんこ屋にて打上げ会を行いました。

鍋をつつきながらツアーを振り返り、楽しかった一日を皆で分かち合いつつ次回開催へと夢を抱きながら解散となりました。(S・H)

春夏秋冬

歌壇・俳壇

春風に ほほをさすられ ゆるむ顔

細木 慎司

石の上に 何考える 赤トンボ

金子 照枝

散る紅葉 モミジ ヒトマイ ニマイ 池の中

松本 登美子

良寛の 荒磯波に 春を待つ

津山 忠夫

高いの 香りも添えて 夜食膳

磯野 猛

杖を曳く

師僧の法衣

冬支度

小黒 大

どろろ汁

知ったかぶりの

話題など

磯部友記雄

良寛牛乳

“やさしさ・和み・いやひ”の良寛シルク

企画・製造・販売

がねこオリジナル

(有) 金子編物 出雲崎町川西104-6

TEL 0258-78-2237

第20回 出雲崎おけさ 全国大会 盛況

東京出雲崎会 初の後援協賛

総合優勝(チャンピオン)に

本間美笑子さん(新潟市)

少年少女部は地元・島宗亜未さん

当会が後援協賛した、第20回出雲崎おけさ全国大会が八月二十三日(日) 出雲崎町民体育館で、震災復興祈願と「おけさ源流の地」のアピールを兼ねた大会が開催されました。

新潟県内勢をはじめ 埼玉、東京、石川、愛知などからの県外出場者も含め総勢六十五人が「寿年の部」「高年の部」「実年の部」「少年少女の部」「中年の部」「成年の部」の各部門別に午前十時、予選会がスタート、大熱戦が展開されました。



全国大会会場風景

審査には民謡研究家の金子泉氏らが当たり、厳正な審査の結果十名が予選を突破。その後チャンピオンを決める決戦会が行われました。

その結果総合優勝には「成年・壮年の部」で優勝した、新潟市の本間美笑子さんが初のチャンピオンに輝きました。又、地元・出雲崎高校一年生の島宗亜未さんが「少年少女の部」に出場、大健闘で見事優勝に輝きました。後日、小林等実行委員長から礼状が当会宛に届きました。

カフェレストラン

夢ふうせん

出雲崎・天領の里向い

☎ 0258(78)3457

東京出雲崎会
人事紹介

(敬称略·顺不同)

津山	内藤	伊藤	岡田	東條	松本	東條	渡邊	中村	宇賀神	中川	吉水	本間	小林	小林	佐藤	保坂	松永	小林	東	磯野	佐藤	白倉	小黒	福井	竹内	田口	細木
忠夫	久吉	勝	齊	玉英	登美子	國榮	榮隆	栄子	登代子	久雄	弘志	明治	正明	常高	信行	早苗	学	能成	建一	清之助	行男	誠	良子	満	照子	晴美	慎司

今井 大槻 関本 松浦 矢部 長谷川
鈴子 博明 良雄 進 亨

委員長

東條國榮

委員長

中村 栄子

委員長

岡田 齊

委員長

加藤 正一

副委員長

松本登美子

中川 久雄

长

天部
享

寺村清一郎

東京出雲崎会では、只今、新会員を募集中です。
皆様のお近くに出雲崎出身の方がおられましたらご紹介下さい。
特に30代～50代の方々には参画頂きたく、皆様のご協力よろしく
お願い致します。

..... 平成22年度「新潟県人会関係」他

1月30日(土) 創立100周年記念式典…グランドプリンスホテル新高輪

2月21日(日) 新潟出雲崎会「総会」

5月15日(土) 東京新潟県人会「第100回定時総会」
＝県人会館 2階ホール

9月25日(土) 新潟県人会と県民大交流祭.....
26日(日)朱鷺メッセコンベンションセンター

編集会議も、今回から多くの
若手の参入で大変活発な意見が
飛び交い、頼もしくも嬉しく感
じました。

当会報作成にあたっては会員の皆様に喜んで頂ける紙面作りが第一義と考えております。

参与磯部昌治氏

平成21年7月21日御逝去

いつも穏やかな人柄で当会「参与」として御尽力頂きました。

ここに謹んでお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます。

ご協力を！

当会が定みなく運営されるのも、皆様からの年会費が大きな役割を果たしております。心より感謝申し上げます。

又 今回の定時総会に都合で欠席される方々には、お手数をお掛けいたしますが、同封の郵便振替用紙にてお振込下さいますよう 謹んでお願い申し上げます。

会計委員会